

いわき民報
発行所 社報民さわい
社址 福島県いわき市
電話 二〇一七
創刊 昭和十一年一月一日
定価 毎月二角
全年二圓
休刊日 日曜、祝日、年末年始

該當者既に五十二名

農業會關係追放

D項およびE項に基く公職追放旋風は農業會關係にも進展、各町村に一大波紋を描いている。現在までの該當者は會長十八名、専務二名、理事十八名、監事十四名計五十二名を數えているが、追放旋風は更に擴大されて戦時中の一般理事、監事、事務に波及する事になつたのである。二百五十名を超過するものとみられている。向町村農業會會長では十五日午前十時から平市町炭屋旅館に評議員會を招集、追放旋風の資格審査について協議するところであつた。該當者氏名左の通り

- 五郎(江名町)會長木下清左衛門
- 會長鈴木一男(鹿島村)
- 専務鈴木一男(鹿島村)
- 理事三島五郎(鹿島村)
- 理事赤坂稔(磐崎村)
- 理事湯本誠(湯本町)會長
- 理事内郷町(湯本町)會長
- 理事好間村(湯本町)會長
- 理事吉田富(永戸村)専務
- 理事正一(澤渡村)監事
- 理事草野(神谷村)會長佐藤正太

榮譽の増産戦士

日鑽常連青年部の表彰

石炭危機の突破はわれわれの手で日鑽常連青年部では、増産運動に拍車をかけるため、優良増産者の表彰を行ふべく石炭青年運動を展開、先づ第一回として昨年十月から十二月迄三ヶ月間の炭産復興増産運動期間中の成績優秀者二十九名に對し會長賞又は青年部長賞を贈ることに決し、十二日入選を終り近く表彰式を挙げる、受賞者は左の通り

- 今村日鑽會長賞吉澤孝(小田)
- 猪狩徳光(大日本勿來)小野秀雄(日曹福島)阿部三郎(日曹赤井)大槻勝清(上野間)
- 田優(三澤)豊田實(上山田)佐藤庄松(戸部)沼田庄三(石原)
- 藤原豊藏(桐形)淵澤武夫(品川黒田)河津彰(麻部)神田忠

湯本鎮在任者を中心として

地方樺太連盟を結成

引揚者の援護及更生運動へ

湯本町常務炭礦湯本鎮を始めて間、大日本、警備、鹿島等の各礦に徴用後も引續いて在任する湯本出身関係者は去る十一月一日午後一時から湯本礦務支部會議室で協議の結果に基づいて、今度警備地方樺太連盟を結成した。同會では未引揚者の促進と引揚者の援護及び日常生活の困難打開に將來の生計樹立を圖るもので、湯本の坂東氏を會長に副會長二名その他會計書記各一名と連絡員等の役員も決定し活動を開始した

赤井、小川 社會課長、鴨原金成、五十嵐、米本

第二班(渡邊、警備、川部)上野野、入道野、總務課長、藤山、永山、高柴、有賀、佐小名濱島の共奮式への電話改装。第三班(泉、豊間、江に伴ふ)舎増新築工事は町元大川、伊藤、第四班(四倉、長谷、大浦、大野、草野、夏川、高野、馬場、鎌倉、吉田、花野、第五班(植田、菊、松崎、林彦、林彦、松崎、松全を期することになつた

供米督勵班再編成

地方事務所最後の班車、郡内其後の供米状況は既に九ヶ町村の完達と七十%まで上昇したが、地方事務所では残りの一万余石の促進と最近の大幅削減に依る交通地獄に對處、所内督勵班の再編成を行ひ最後の班車をかける事になつた

單位農業會運営刷新

あす平方部連絡會で協議

農業會支部の平方部連絡會はこと發受十四日平野員に踏み込十六日午前十時から市農業會棟一網打盡に検査、白銀町管轄(四八)胡澤澤工藤七郎(四三)正月町根本情次

商業協組發起人會

十七日設立案その他を審議

平地區統制組合では二月末日の解散を前に商業協同組合の設立準備中、各町有志、有志として右の五氏を挙げ、各部會に發起人二十九名を推薦十七日午後一時から同組合内で發起人會議を開き、發起届の作成、設立案を起人總代、常任委員選等八、外方記号は平野藤方で連夜、如く花札賭博を開帳してゐる

協同組合法

連絡協議會

地方事務所では十六日午前十時から、四倉、小名濱、江名、湯本、植田の各地區統制組合代表を招致、協同組合法の切換に依る配給物資の取扱等について連絡協議會を開く

小名濱局舎の

改造契約成る

小名濱局の共奮式への電話改装工事は三月末迄に完工の豫定で着工することに決定した、工事に伴ふる職工約二十名の止泊と食糧問題については、近く町内加入者代表協議會を開き、對策立案に乗り出し、全を期することになつた

一網打盡に

白銀町の花賭博

平野町三無職平野藤方(一)十位目と木炭一俵其の他を盗まれたが同夜同村下小川農中柴かつ(六五)方でも味喰其他を盗ま

味喰を盗まる

上小川村大字上小川農草野淺石衛門(五八)方では十二日夜味喰十位目と木炭一俵其の他を盗まれたが同夜同村下小川農中柴かつ(六五)方でも味喰其他を盗ま

求ラジオ技術者

上原時計店

平野町電話三番

漁夫の溺死

八戸市大字港町宇人形漁夫磯谷寛三(二五)は去る九日午後四時頃四倉沖合四軒地点にて漁撈板上前部左舷にて操縦網作業中、溺死した

火災保險付金庫

美術手提金庫

御下命賜り度し、九公にて御納めします、但し税金は掛ります、脱税行為は主が二十倍の罰則に觸れますのでこの點御注意を御願ひ申上ります

日本銀行・東京都廳指定 橋本・阿野・佐川

金庫製作所

代行第一金庫製作所 理事 萩敏行

出張營業所 平市町二五 馬目支店

自宅 平市才道小路二五

天幕・日除

雨衣・窓幌

雨覆・靴類

ソックス

同附屬一式

右製品の委託加工 一回大早運 工賃一報いたしま お伺ひいたしま

製作所 島 敷

磐中出身者に告ぐ

同志生諸兄の最近の動靜を左記に通知あり、平市町屋町福島無盡金庫内(電話一三番) 磐中同志會名簿編纂委員會 委員長 山森正一

福島縣立平商業學校校友會會長 比佐三郎儀

豫而病氣療養中、處藥石効ナク去ル四日午後八時死去、任候間此後諸告仕候、而而葬儀ハ一月十六日午後一時自宅出棺良善寺ニ於テ相營ミ可申候

昭和二十二年一月十二日

福島縣立平商業學校校友會會長 命副會長 宮川義一 福島縣立平商業學校校友會會長 神谷兼次郎

繁昌する巷の魚共販所

どんな魚でもあるが値もよい 賣子一人の純益が何と二百圓

濱の不漁ここに災されてか家庭十貫匁位とあるから日に二百圓と町の應援を受けて實測中だ。配給の魚もさつぱり出廻らな。圓位の純益に計算されるのだが、實測の結果は四十五町。いが結構各家共食膳には魚が。今は列車が駄目なので多くは。歩余に増歩を示し一月平均一町。豊富である、さて何處から来る。を利用するので運賃其他が。外にがさばり五、六、四、三、二、一、の事懸値と見て百圓として。販に對抗して巷の共販所とも云。ふべき丸トモ横通りの青空市場。五百圓の枠内生活に比較すれば。がその代表的なもの様だ、。苦勞が多い代りに馬鹿に出来な。給では見た事もないメスキダイ。の商賣である、種類は豊富で何。の一貫五百匁もあるもの、眼の。時でも買える代りに修給生活者。さめる様なアカデ、ヒラメ、カ。にはちつと辛以下當日賣りの。チガシラ、ニツモチ、イカ、タ。お魚の値段である單位買値圓。コ等々……本物の共販所には見。イワン(七〇・八〇)タコ(八。た事のない魚の顔がずらりと並。〇・八五)メスキダイ(一〇。んで居る、試みに賣行きを見て。〇)クロガラ(一〇〇)アカ。るとやはり王座はイワン、アカ。後はこの吉報に大喜びで、今。デ、クコ、イカ、ヒラメ類が五。〇)マコ(九〇)ホウボウ(一。三反歩内外に當ることが判つた。百匁前後に小切られて飛んで行。〇〇)サメガレ(一六〇)ニク。會員はこの吉報に大喜びで、今。く、聞いて見ると十五、六人の。〇〇)一〇(カナガシラ)一。は町の食糧は全會で一手に引。賣子の中市内のは僅か二、三。〇〇)サメガレ(一六〇)ニク。受ける決意で増産に邁進するこ。人で残りは濱の者他郡の渡り。モチ(五〇)イカ(八〇)。とを申合せ着々既定計劃の下。賣子が占めて居る、賣上げは一。九〇)ホドワン(六四四圓)。に大きな福音をもたらすものと。して期待をかけている。

平署も供米督勵へ

阻害的行爲は一齋に取締る

郡下の供米の月内平遂に側面的援護運動をなすため平署でも左の如く督勵班を組織、督勵をなすと共に供米を阻害する生産者の販賣譲渡、物交又は手間賃等の代償としての横流し、無許可移動輸送、無許可加工、供米阻害煽動其他の一齊取締に乗り出すことに。

- ▼四倉小川(佐藤(喜)部長)
- ▼大野、草野(菅野警部補)
- ▼大浦赤井(鈴木(正)部長)
- ▼神谷内郷(三輪防犯)夏井鹿島(丹治防犯)高久好間(村田防犯)飯野警備(桑名防犯)

分割開始の興農會

一戸平均一町余

小名濱町諸部落の芳川町内會で、は戦時中父祖傳來の耕地を日立製菓所小名濱工場へ賣却したが、終戦後食糧増産のためにこの田畑三十八町歩余の拂戻しを要求、町内會長小野藤司氏を會長に興農會を組織、買戻しに努めた結果、この熱意に感激工場側も無條件買戻しに應じたので、全に機械五十臺を取付け即時製造會では會員四十余名に分割しよ

各種シンの販賣と修理

平署警署前通り

三浦商會(シ)部 電話八六四番
大苗 一、四八、一、一八
中苗 一、三八一、一〇八
小苗 一、一九、八九
△伐出苗
大苗 一、四二、一、一二
中苗 一、三三、一、〇三
小苗 一、一四、八四
△取木苗
大苗 一、三三、一、〇三
中苗 一、二五、九五
小苗 一、〇八、七八

桑苗價格も大幅値上げ

養蠶五ヶ年計劃の實現は先づ桑苗の増産からと地方事務所

養蠶五ヶ年計劃の實現は先づ桑苗の増産からと地方事務所。課では、舊年來桑苗の自給自足計劃を樹立中だが、本年から桑

製菓授産開始

授産所に五十臺を据付けて

引揚者をはじめ未亡人や遺族家族ブル包装作業についても近く決。製菓所小名濱工場へ賣却したが、終戦後食糧増産のためにこの田畑三十八町歩余の拂戻しを要求、町内會長小野藤司氏を會長に興農會を組織、買戻しに努めた結果、この熱意に感激工場側も無條件買戻しに應じたので、全に機械五十臺を取付け即時製造會では會員四十余名に分割しよ

開

投資を歓迎す 要望批判結構 紙上可隆

小名濱の道路
小名濱町の産むた偉人小野平氏の築かれた事業中尤も二万町民の忘れ難きものは市道。道路の舗装である、降雨毎に泥。汚塵を設する道路は自動車。達と共に店舗の如き商品が泥土。に委するより外なき惨情から救。ひ上げたのが舗装工事である。で雨毎に故人の事業の偉大さを。思はるのである。最近幹線道路一線たる小

市人口動態調査

十二月の人口動態は

市人口動態調査
十二月の人口動態は
△出生五十九(五十三)△死亡
(括弧内は十一月)

鏡門

視力試験設備が有ります

鏡門
定指醫科眼各
屋 玉 市 平
目 丁 一 九 話 電 新
番 〇 一 九 話 電 新

玉水吟社

元日句會

赤井村玉水吟社では元旦に小川。舞臺前旭屋廣間に新年俳句會を。開き、文化昇揚を申合せた、當。日の持寄句や題句は左の通り
持寄句元日
高萩 喜一
元旦や嬉々と友呼ぶ晴衣の兒
元日や帯の跡も消々し
元日やまた帯はぬ漸世帯
席題句カルタ
【天賞】
静浦 日洲
かるたにも親しみますして苦學か

【地賞】
梅田 唯雀
遠來の友ありかたの宿の日に
【人賞】
高萩雅敏女
得意札前に揃へしかるた會
【五客】
高萩雅敏女
業平も小町も遊ぶ歌かるた
松本 松甫
懇話めてかるたの手に纏れて
見し
真心にかへりて母もかるたとり
札とれぬ兄は詠むなりかるた會
進む文化に守る視力

歌短

近詠五首

諸橋 茄枝
緞枯れし唐黍の葉は地に反りて
秋づく風に音立つるなり
幾許の雲を支へつゝ唐茄子の蔓
たくましく捲に垂れたり
蒸し返す草原遠く雨乞ひの大鼓
響きて雲開けにけり
夕すよの窓潮騒をまともにて簾
の端にからむ風あり
いみじくも秋のおもひに徴すなり
飛行機小さく飛び過ぎにけり
帝大病院にて
永井清三郎
今日もまた曇りなりらし朝方
がら草生の露はすでに乾けり
看護婦の廊下を歩む足音も襦袢
にして夜は更けにけるかも
手術後の熱に苦しむ吾を日守り
一睡とせず夜明けの母は
乎術して六日にわれば母の手を
かりてやうやくベットの起きぬ
あきらめてこやり居れどもふる
さとの山川思へば悲しかりけり
明けくれの食事もベットの上下
して過ごしつゝ病む病人あはれ
掛ければいねがてにしてたび
くも目を覺ますかな汗をか

【2点句】
高萩 喜一
元旦や嬉々と友呼ぶ晴衣の兒
渡邊 何鳴
元旦や鐵扇閉ぢして百貨店
松本 松甫
元朝の一番列車に入る
松崎 花笑
待ちわびし家内揃ふて年の朝
【4点句】

【天賞】
静浦 日洲
かるたにも親しみますして苦學か
【地賞】
梅田 唯雀
遠來の友ありかたの宿の日に
【人賞】
高萩雅敏女
得意札前に揃へしかるた會
【五客】
高萩雅敏女
業平も小町も遊ぶ歌かるた
松本 松甫
懇話めてかるたの手に纏れて
見し
真心にかへりて母もかるたとり
札とれぬ兄は詠むなりかるた會
進む文化に守る視力

桑原計理事務所
計理士 桑原 徹
平市場土 電話一五番

金庫は甲子
大型金庫 在庫
手提金庫 豊富
福島縣一手販賣
小名濱代理店
廣屋商店
電話一六八

美人女給
至急入用
小名濱町濱小

カフエー
末廣
小名濱町濱小

女給さん入用
至急入用
小名濱町濱小